

7. 男女共同参画について

(1) 家庭生活での男女の地位の平等感

◇【男性優遇（計）】は5割台半ば,「平等」は3割,【女性優遇（計）】は1割に満たない

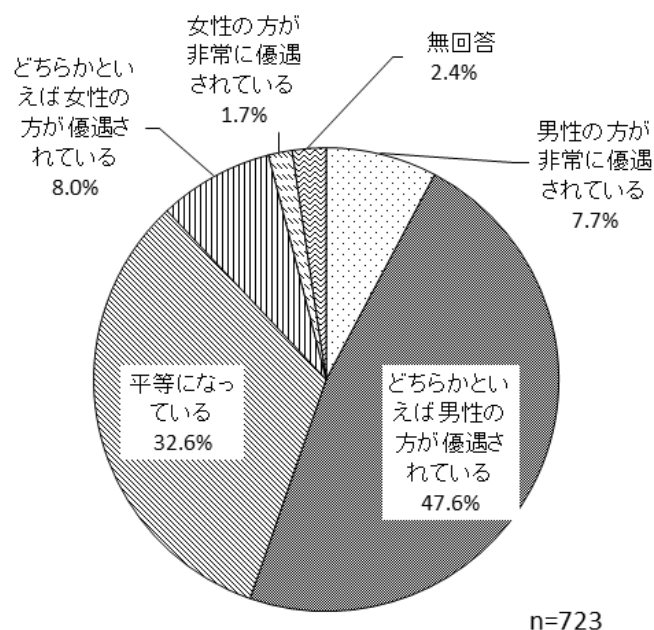
問 19 現在, 家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)		n = 723
1	男性の方が非常に優遇されている	7.7%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	47.6
3	平等になっている	32.6
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.0
5	女性の方が非常に優遇されている	1.7
	(無回答)	2.4

現在, 家庭生活上で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ, 「男性の方が非常に優遇されている」(7.7%)と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(47.6%)を合わせた【男性優遇（計）】(55.3%)は5割台半ばとなっている。「平等になっている」(32.6%)は3割台で, 「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(8.0%)と「女性の方が非常に優遇されている」(1.7%)を合わせた【女性優遇（計）】(9.7%)は1割に満たない。(図IV-7-1)

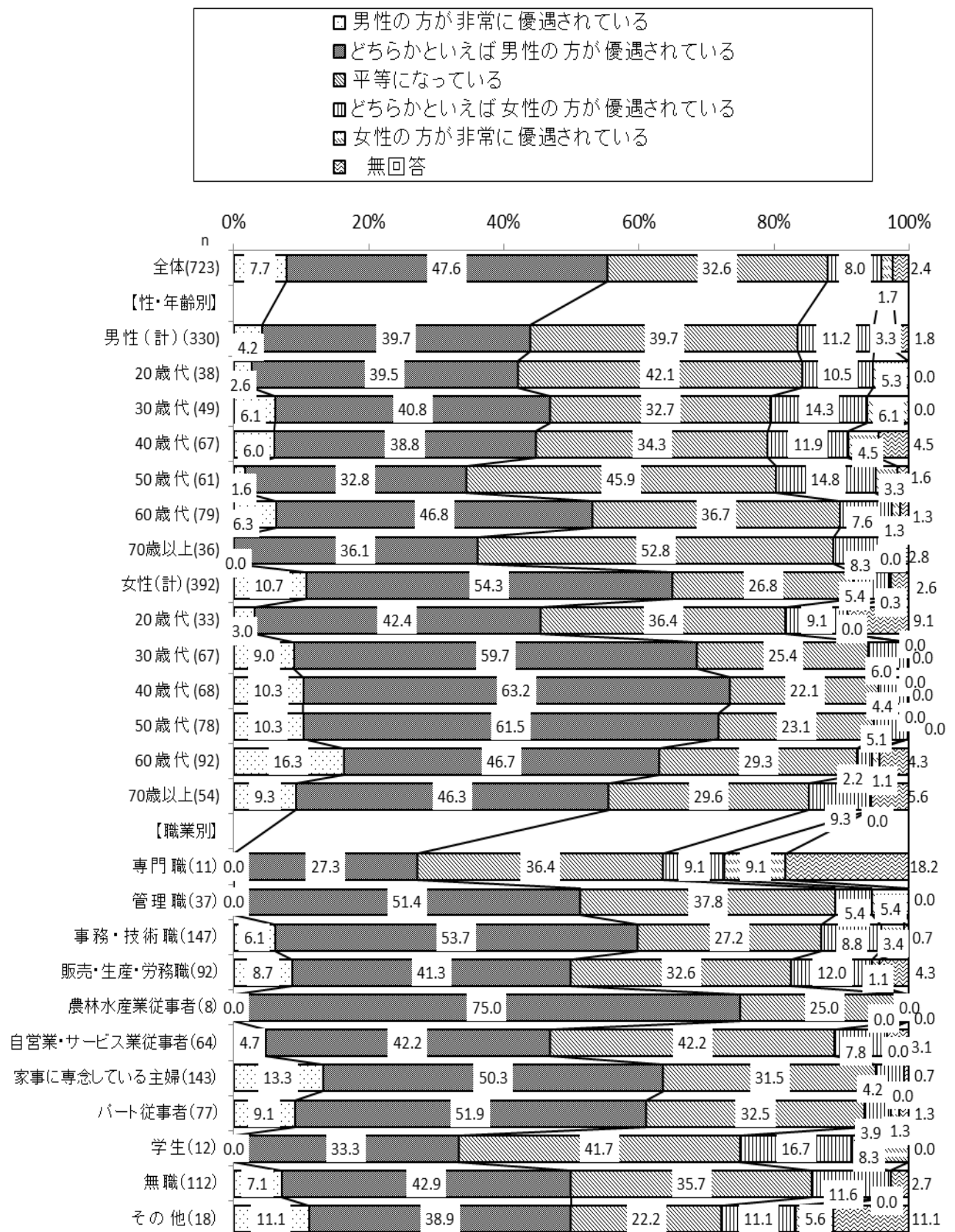
性・年齢別で見ると, 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた【男性優遇(計)】は<女性/40歳代>(73.5%), <女性/50歳代>(71.8%), <女性/30歳代>(68.7%)でほぼ7割となっている。

職業別で見ると, 「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた【男性優遇（計）】は<家事に専念している主婦>(63.6%), <パート従事者>(61.0%), <事務・技術職>(59.8%)でほぼ6割となっている。(図IV-7-2)

<図IV-7-1>全体



<図IV-7-2>性・年齢別/職業別



(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度

◇「言葉も内容も知っている」は2割近く

問 20 あなたは、「仕事と生活の調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、どの程度知っていますか。（○は1つ）

	n = 723
1 言葉も内容も知っている	17.6%
2 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない	38.5
3 言葉も内容も知らない	29.6
4 わからない	12.6
(無回答)	1.8

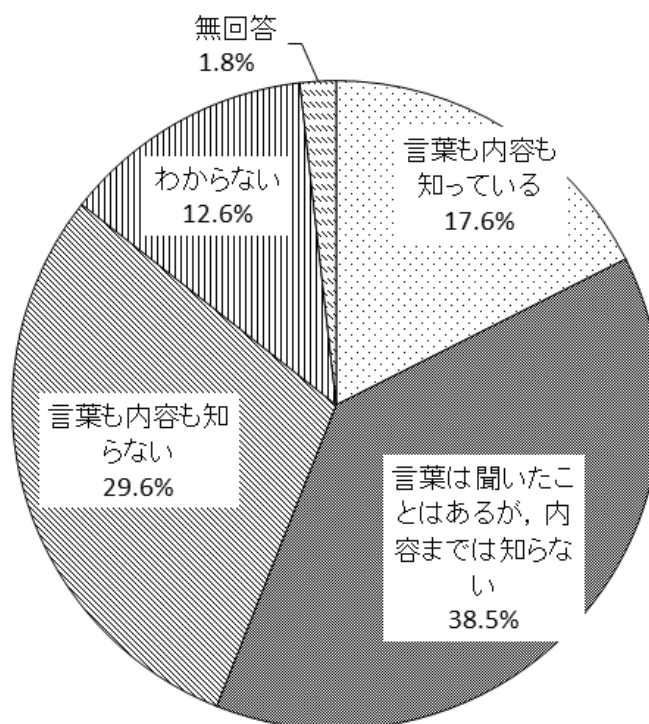
「仕事と生活の調和」すなわち「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、どの程度知っているか聞いたところ、「言葉も内容も知っている」（17.6%）は2割近くとなっている。

一方、「言葉も内容も知らない」（29.6%）は3割近くとなっている。（図IV-7-3）

性・年齢別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<男性/40歳代>（35.8%）、<女性/30歳代>（25.4%）で2割台半ばを超えている。

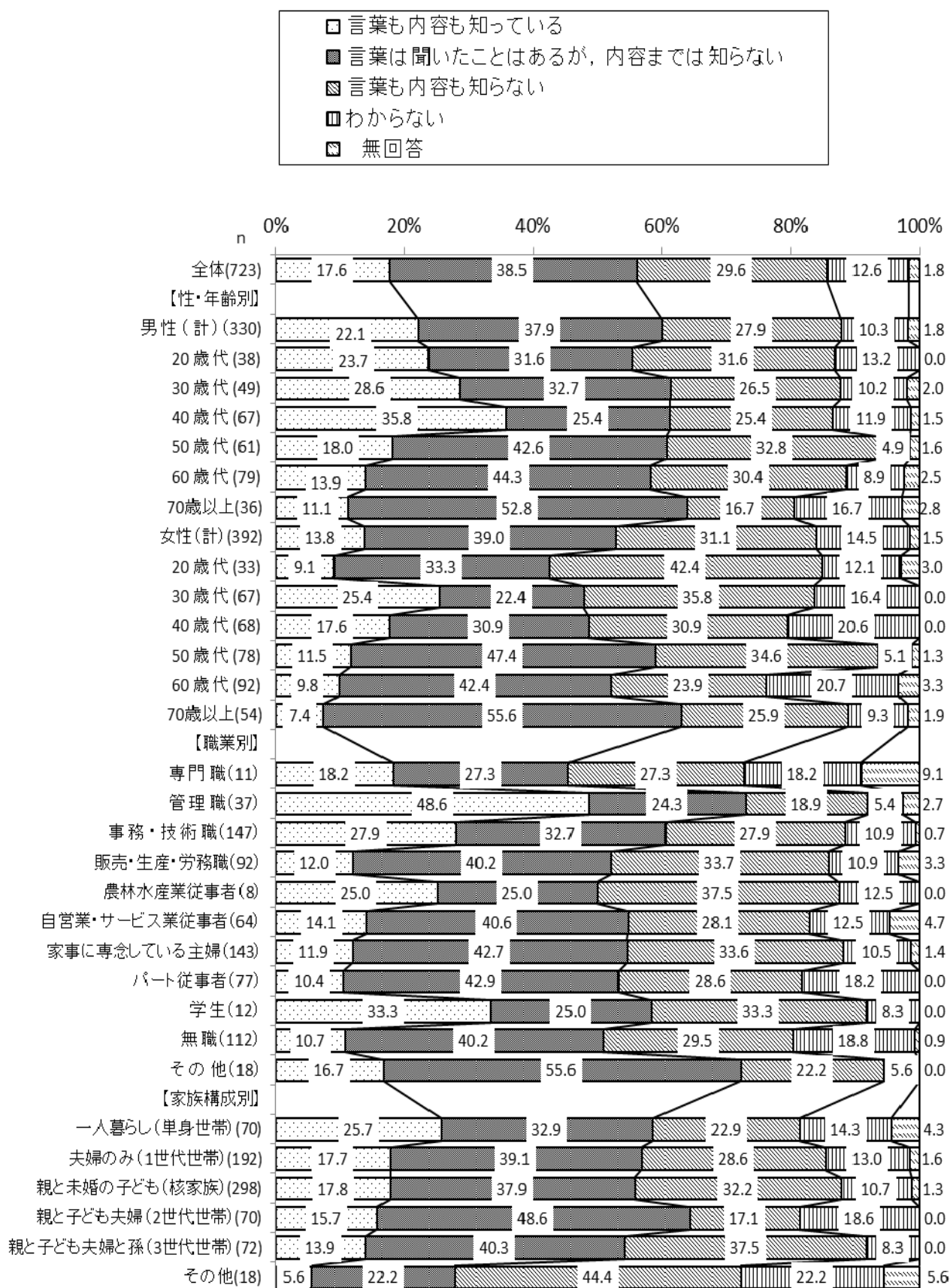
家族構成別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<一人暮らし（単身世帯）>（25.7%）で2割台半ばとなっている。（図IV-7-4）

<図IV-7-3>全体



n=723

<図Ⅳ-7-4>性・年齢別/職業別/家族構成別



(3) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する理想と現実

◇【理想】は「仕事と家庭生活と個人・地域の生活のすべて」がほぼ2割

◇【現実】は「仕事」が2割台半ば、「家庭生活」「仕事と家庭生活」が1割台

問 21 生活の中で、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、個人・地域の生活（ボランティア活動、社会参加活動、趣味、娯楽など）のうち、何を優先しますか。
【理想】と【現実】について、それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

	n = 723	【理想】	【現実】
1 仕事		1.5%	24.9%
2 家庭生活		13.6	17.2
3 個人・地域の生活		3.2	1.4
4 仕事と家庭生活		14.0	17.2
5 仕事と個人・地域の生活		2.6	1.9
6 家庭生活と個人・地域の生活		11.2	3.5
7 仕事と家庭生活と個人・地域の生活のすべて		19.1	1.4
(無回答)		34.9	32.6

生活の中で、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、個人・地域の生活（ボランティア活動、社会参加活動、趣味、娯楽など）のうち、何を優先するかについて、【理想】と【現実】の2つに分けて聞いた。

【理想】は、「仕事と家庭生活と個人・地域の生活のすべて」（19.1%）が2割近く、次いで、「仕事と家庭生活」（14.0%）、「家庭生活」（13.6%）、「家庭生活と個人・地域の生活」（11.2%）の3項目がいずれも1割台と続いている。

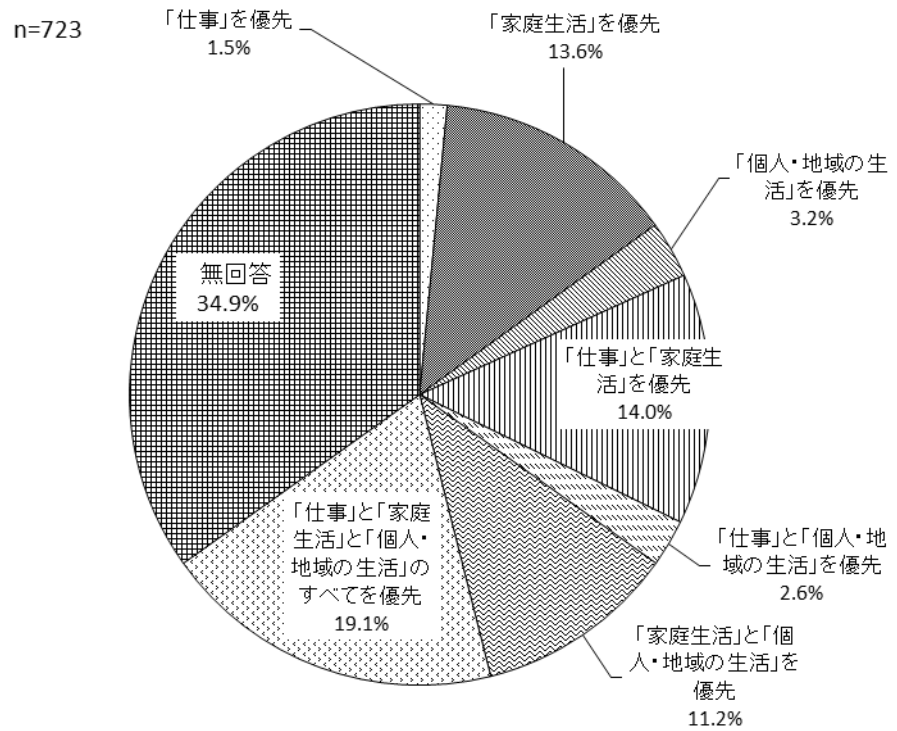
【現実】は、「仕事」（24.9%）が2割台半ば、次いで、「家庭生活」（17.2%）と「仕事と家庭生活」（17.2%）がともに1割台と続いている。

【理想】と【現実】を比較してみると、「仕事」（1.5%・24.9%）が23.4ポイントと最も差が出ている。次いで、「仕事と家庭生活と個人・地域の生活のすべて」（19.1%・1.4%）が17.7ポイント、「家庭生活と個人・地域の生活」（11.2%・3.5%）が7.7ポイントの差となっている。（図IV-7-5）

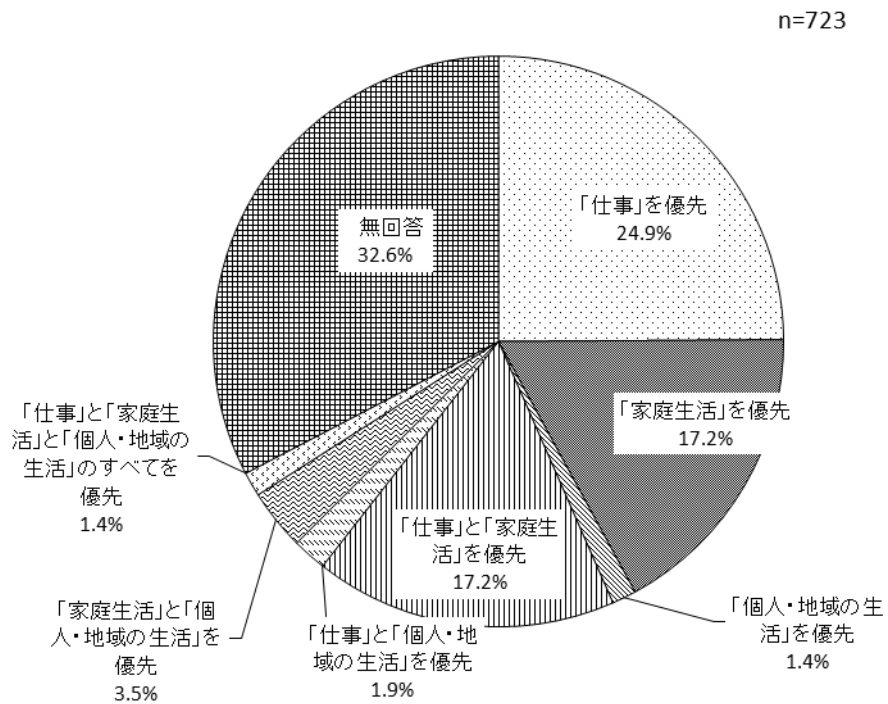
家族構成別で見ると、【理想】は「仕事と家庭生活と個人・地域の生活のすべて」を優先する方々については＜親と子ども夫婦と孫（3世代世帯）＞（23.6%）でほぼ2割台半ばとなり、【現実】は「仕事」を優先する方々については＜一人暮らし（単身世帯）＞（34.3%）でほぼ3割台半ばとなっている。（図IV-7-6）

<図Ⅳ－7－5>全体

【理想】

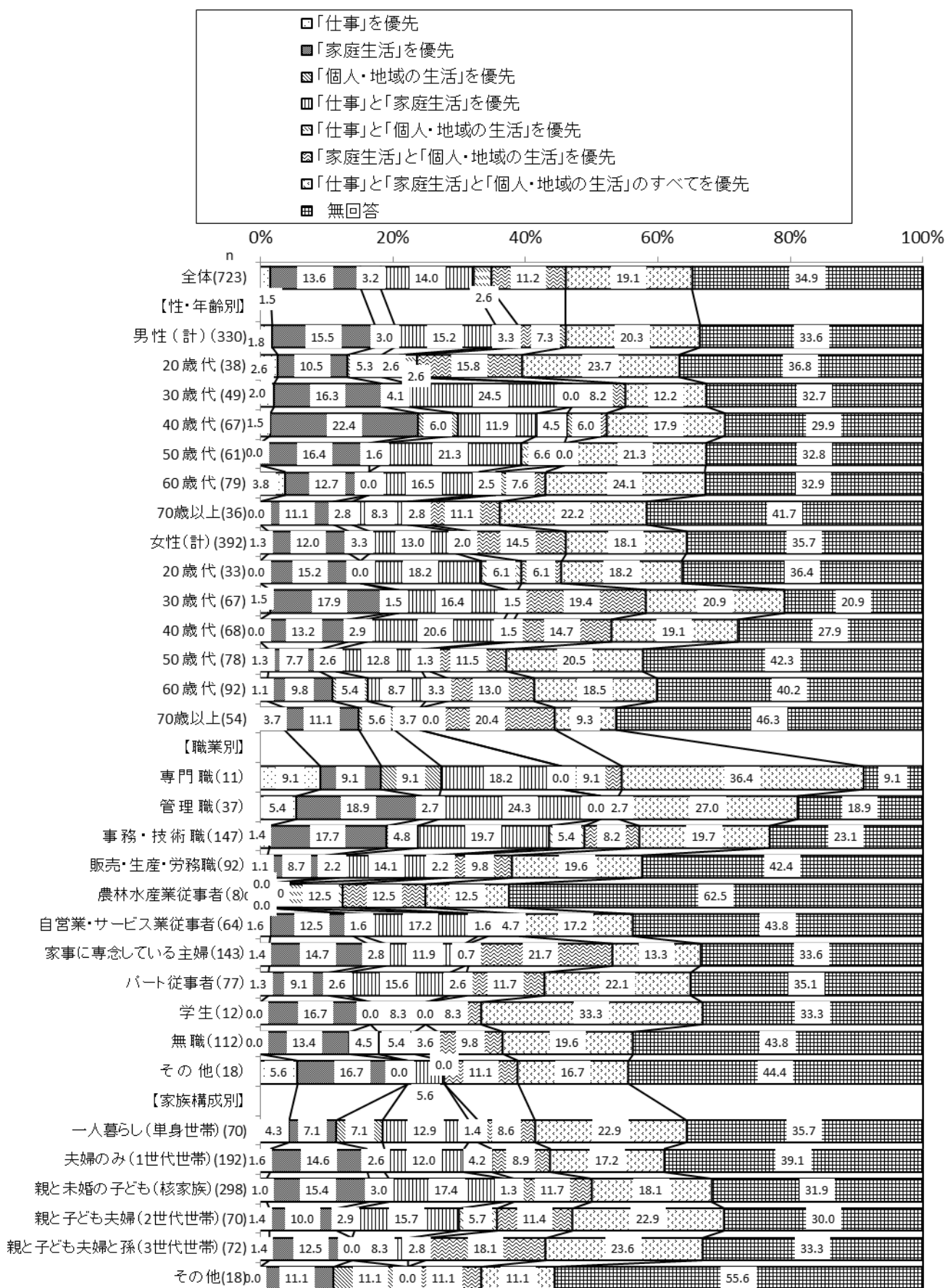


【現実】

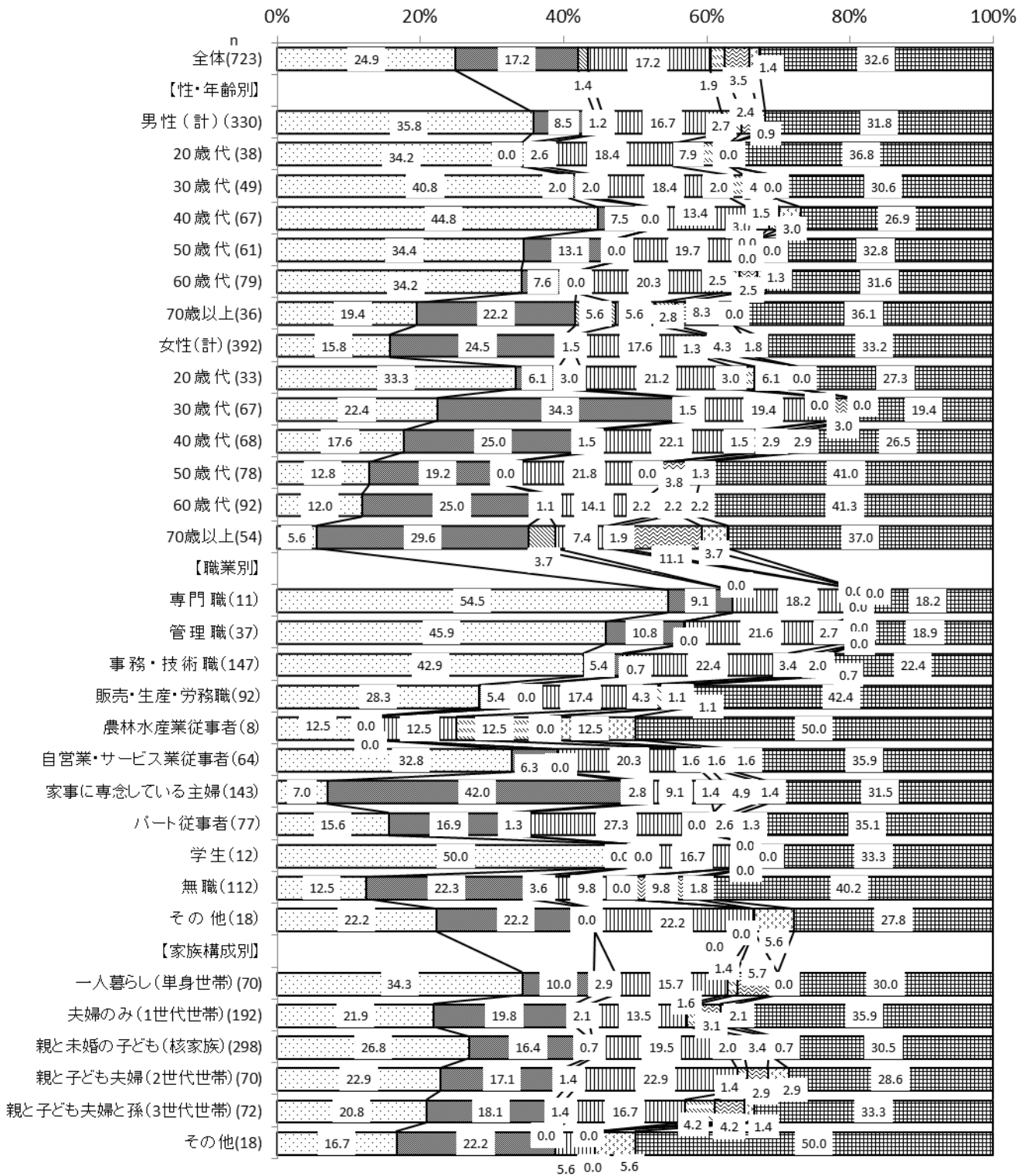
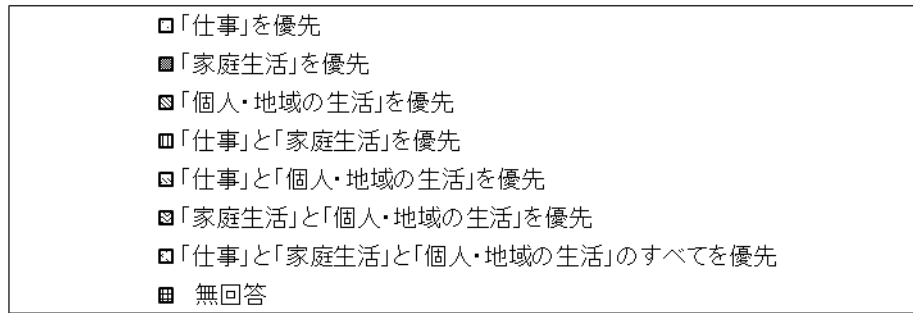


<図Ⅳ-7-6>性・年齢別/職業別/家族構成別

【理想】



【現実】



(4) 配偶者からの暴力を受けた経験

◇ “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” 経験のある人は 8.6%

問 22 過去2年間に夫や妻, 恋人から, 暴力を受けたことがありますか。次の各項目について, それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。

n = 723

項 目	何度もあった	1, 2度あった	まったくない	(無回答)
身体に対する暴力を受けた (殴る, 蹴るなど)	0.7	2.8	92.5	4.0
精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた (大声で怒鳴る, 待ち伏せをするなど)	2.4	6.2	87.0	4.4
経済的な暴力を受けた (生活費を渡さない, 支出を細かく監視するなど)	1.2	2.1	92.0	4.7
社会的な暴力を受けた (携帯電話を壊す, 親族や友人との付き合いを制限するなど)	0.7	2.6	91.8	4.8
性的な暴力を受けた (性行為を強要する, 避妊に協力しないなど)	0.8	1.4	92.7	5.1

過去2年間に, 夫や妻, 恋人から暴力を受けたことがあるか聞いた。

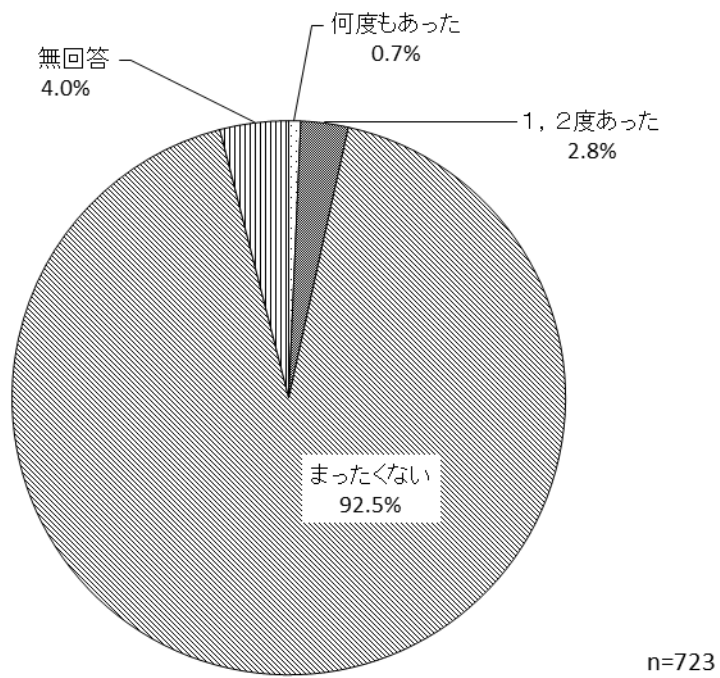
「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり (計)】の割合は, “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” (8.6%) が最も高く, 次いで, “身体に対する暴力を受けた” (3.5%), “経済的な暴力を受けた” (3.3%), “社会的な暴力を受けた” (3.3%) となっている。

(図IV-7-7)

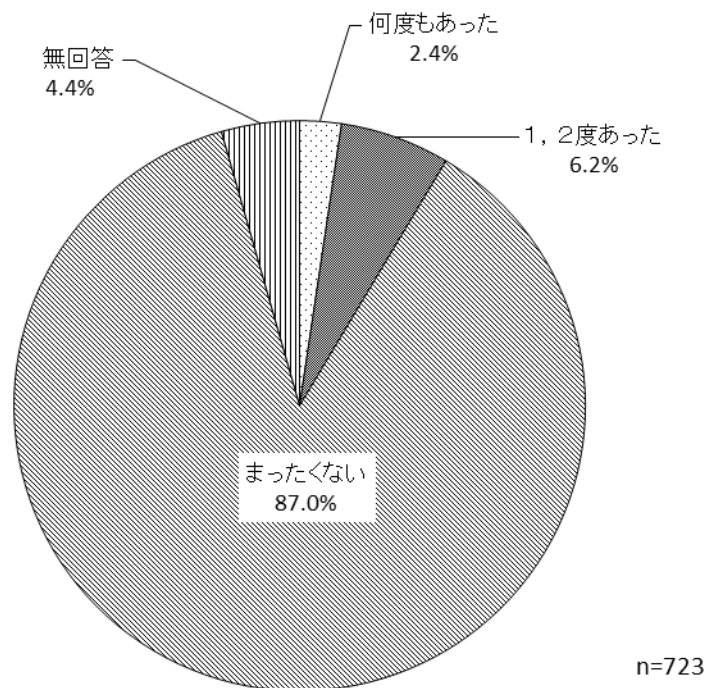
性・年齢別で見ると, 「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり (計)】の割合は, “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” の<女性/30歳代> (16.4%) が最も高くなっている。

家族構成別で見ると, 「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり (計)】の割合は, “精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた” の<一人暮らし (単身世帯)> (10.0%) が最も高くなっている。(図IV-7-8)

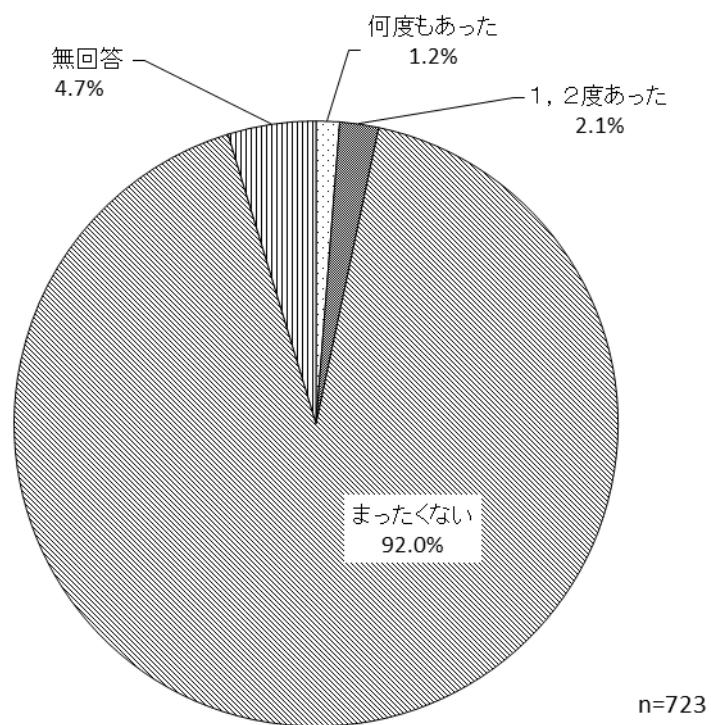
<図Ⅳ-7-7>全体
【身体に対する暴力を受けた】



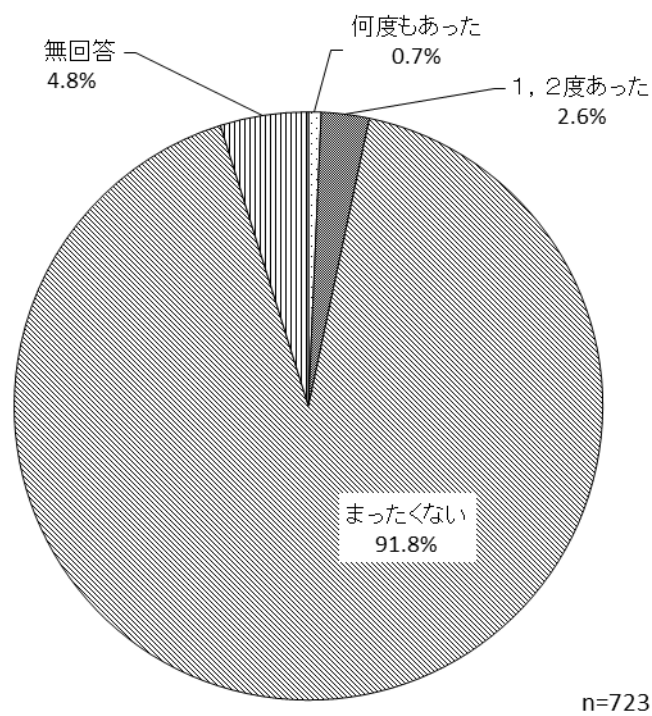
【精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた】



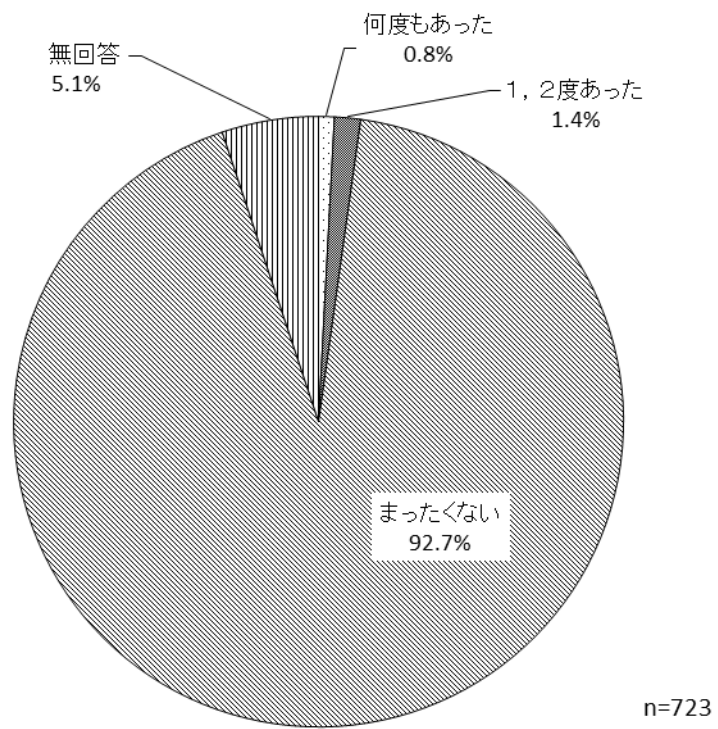
【経済的な暴力を受けた】



【社会的な暴力を受けた】

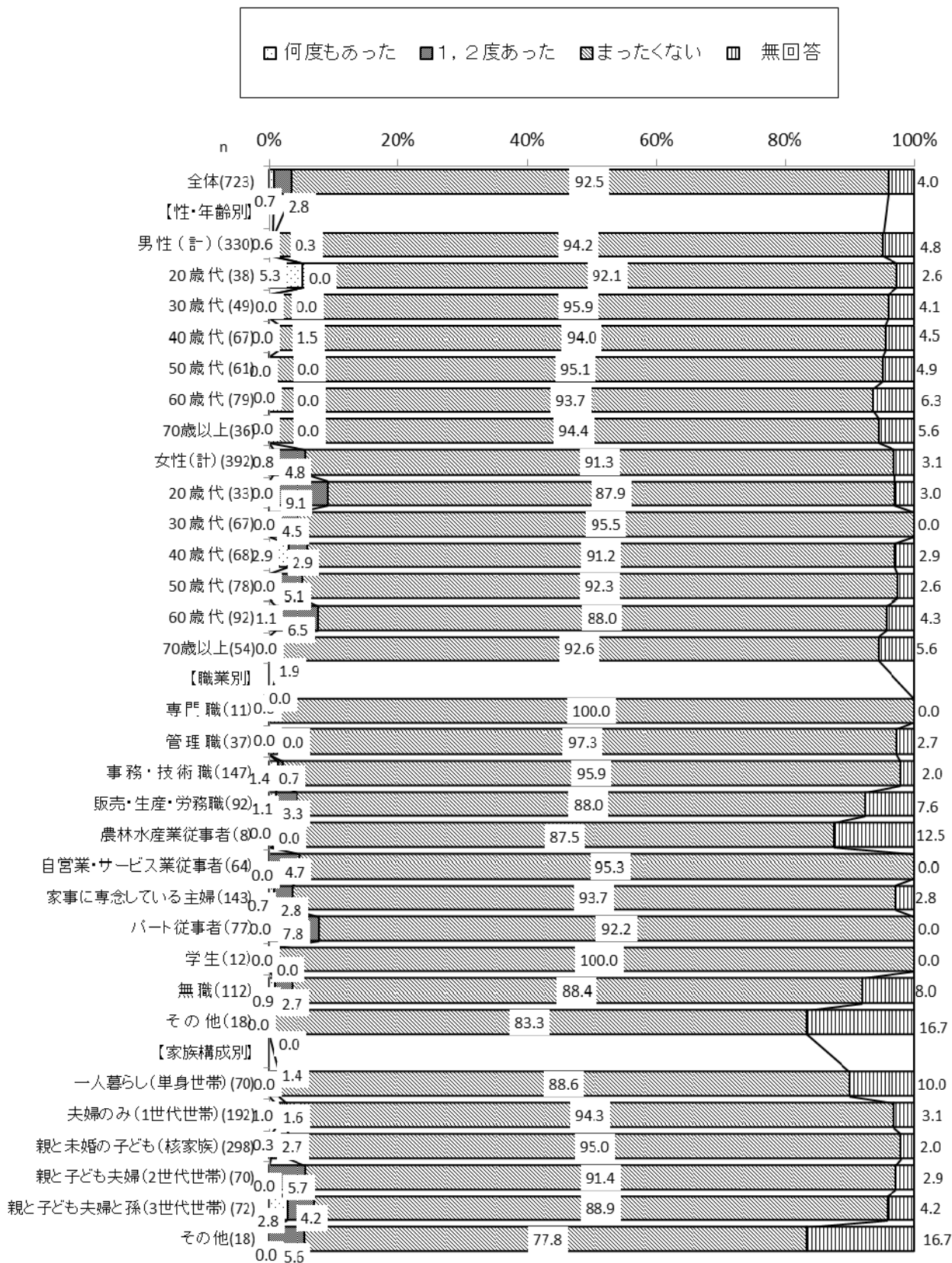


【性的な暴力を受けた】

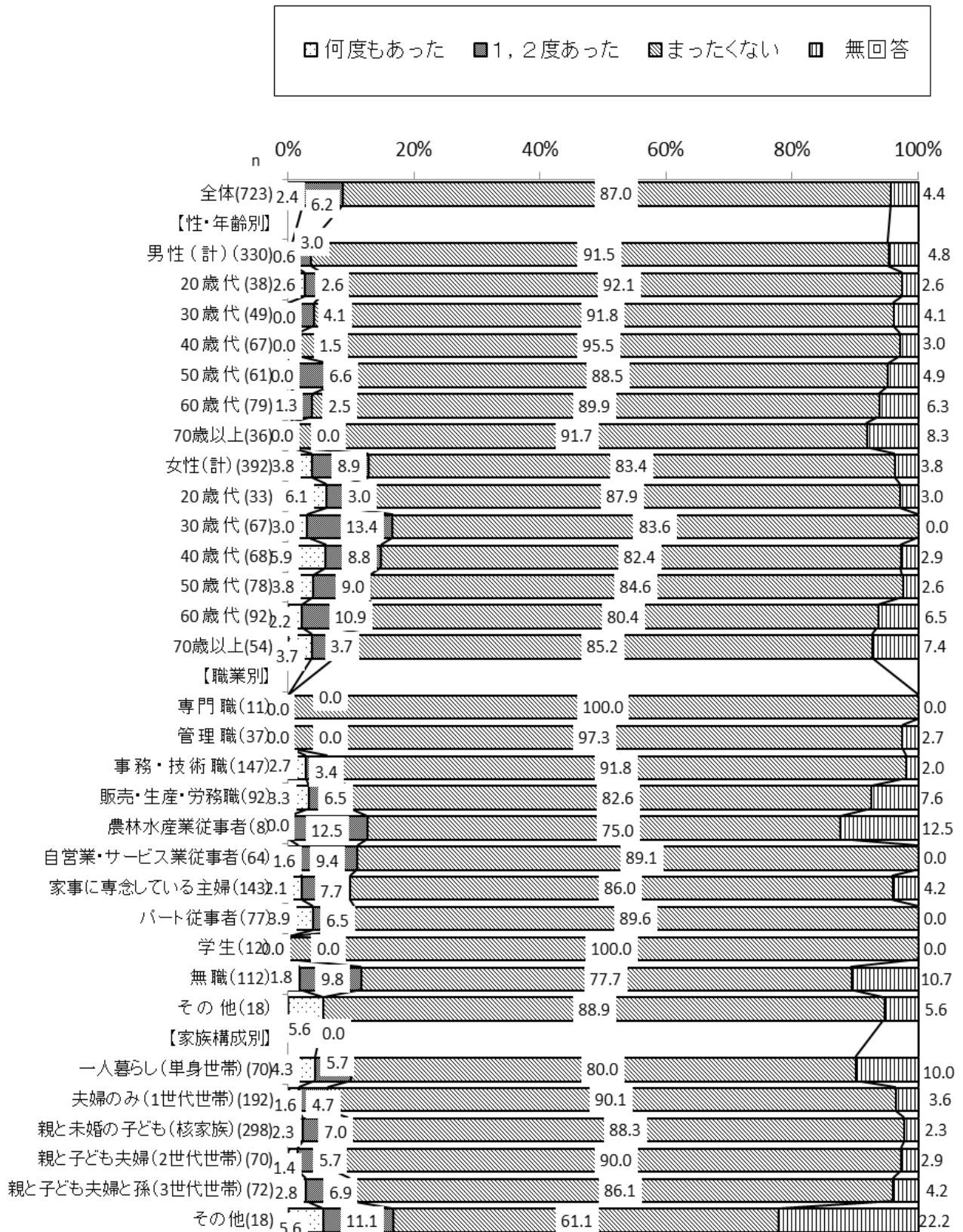


<図IV-7-8>性・年齢別/職業別/家族構成別

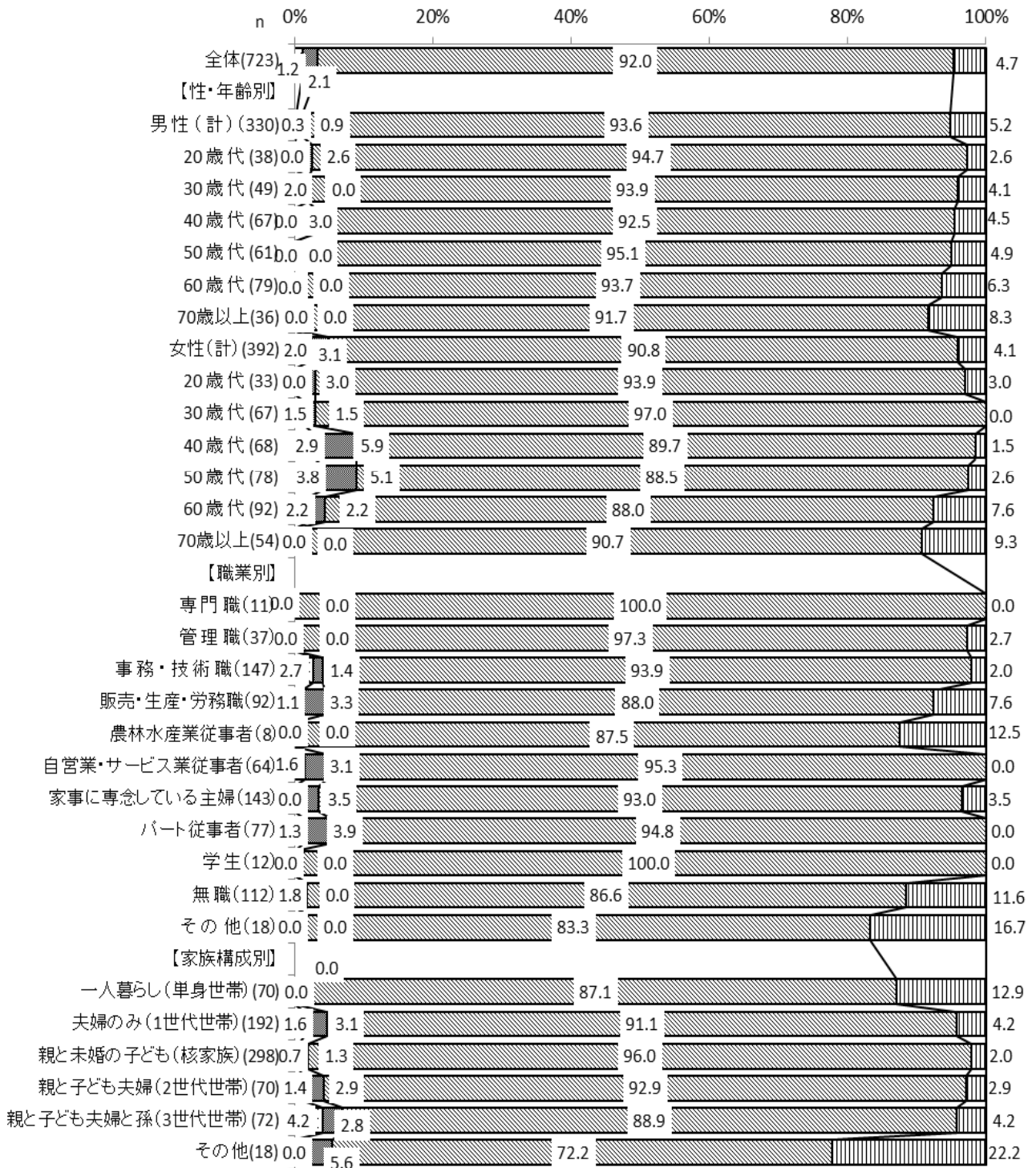
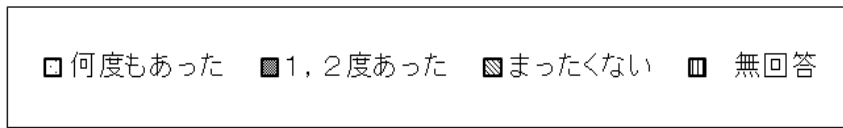
【身体に対する暴力を受けた】



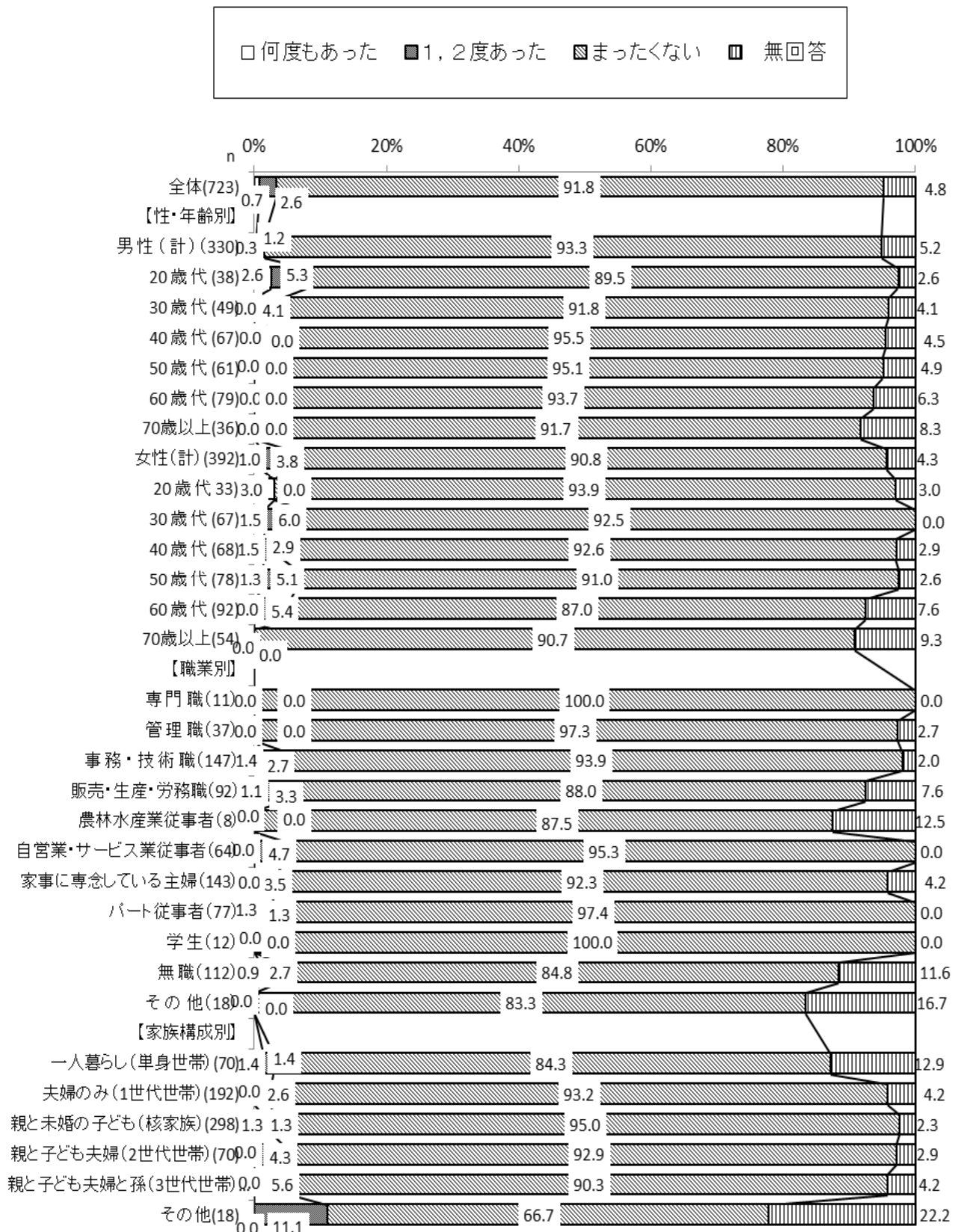
【精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた】



【経済的な暴力を受けた】



【社会的な暴力を受けた】



【性的な暴力を受けた】

